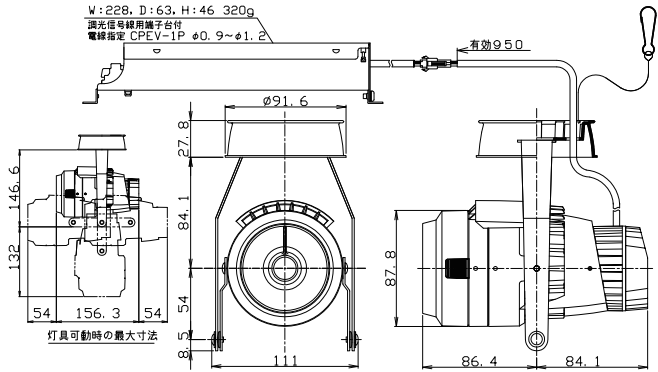
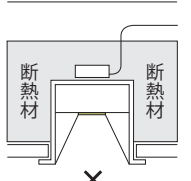
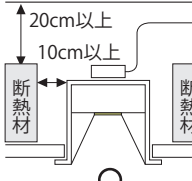


PAR20 for GRID TRIMLESS

SL-400DFC/V2/PWM

	器具重量	専用光源 専用電源 入力電圧	COB26W 定電流電源 100V/200V/242V
	1.2kg	入力電流	0.32A(100V) 0.16A(200V) 0.14A(242V)
	首振角度	消費電力	31.8W(100V) 31.4W(200V) 31.6W(242V)
		周波数 光源・電源付き 適合調光器：SX-CD1500PWM 調光方式：PWM制御方式	50Hz/60Hz 光源・電源付き 適合調光器：SX-CD1500PWM 調光方式：PWM制御方式

安全に施工していただくために《各作業前に必ずご確認ください》			
 警告：誤って使用すると、人身事故につながるおそれがあります。		 ：禁止事項	
 注意：誤って使用すると、物的損害につながるおそれがあります。		 ：厳守事項	
取付前に	 警告		この器具は、一般通常環境の屋内専用器具です。 下記の使用環境・条件では使用不可です。(落下・感電・火災の原因) ●周囲温度0℃以下35℃以上 ●器具重量に耐えられない天井 ●天井内が断熱施工されている所 ●湿気の多い所 ●傾斜・凹凸天井 ●屋外 ●壁面 ●空調や風の受ける所 ●床面 ●振動、衝撃を受ける所 ●火気の近く ●直射日光の当たる場所 ●粉塵、腐食性ガス 発生場所 使用環境に適合するか判断が困難な場合は、お問い合わせください。 
	 注意		被照射面距離は、器具本体表示または仕様書に従ってください。(被照射物の変質・変色等の原因)
電気配線時に	 警告		電気工事は必ず有資格者が行ってください。(事故の原因)
			交流電源をご使用ください。電源周波数は器具の銘板に従い正しく使用してください。(感電・火災の原因) (インバータおよび白熱灯器具は50Hz・60Hz 共用)
			電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている電圧±6%内でご使用ください。(ランプ短寿命・感電・火災の原因)
			配線部品を使用の際は、破損のないことを確認のうえ使用してください。(落下・損傷の原因)
器具取付時に	 警告		器具やランプの取付は、器具本体表示または本説明書に従い確実に行ってください。(落下・感電・火災の原因)
			ランプ装着の際は必ず電源を切ってください。(感電の原因)
			点灯中、消灯直後は高温のため器具に触らないでください。(やけどの原因)
			布や紙、断熱材を器具の上に置いたり被せたりしないでください。(不点灯、火災の原因)
			器具の隙間に金属や燃えるものを入れないでください。(感電、火災、器具故障の原因)
			器具取付部以外の本体外郭が天井内外の造営材やダクト等の設備に接触しないように施工してください。 (落下・感電・火災の原因)
			器具の分解・改造はしないでください。(感電・火災・落下・故障の原因)
			濡れた手で作業しないでください。(感電の原因)
	 注意		煙や異臭等の異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼してください。(感電・火災の原因)
			スプリンクラー等の防火設備に器具の熱が影響しないように施工してください。(誤作動の原因)

ModuleX

Installation Guide

Lighting Fixture

取付説明書 (照明器具)

PICK UP SPOTLIGHT

ModuleXを安全に設置していただくために

SL-400DFC/V2/PWM

取付内容		取付図	注意図	
1 2	オプション取付		⚠e	⚠f
	フードをはずす			
	フードには適合ランプを差込む			
	フード装着の際はフードロックが カチッと音がするまで確実に装着 してください			
⚠e	フィルターはフード側の固定バネに まっすぐ押し込んで確実に装着 してください			
⚠f				
1 2	結線方法		⚠g	
	専用ドライバー（同梱）と コネクターをつなげる			
	専用ドライバーは天井内に設置する			
	コネクターは確実に接続して ください。 はずす場合は、インナーロックを 押しながら引きます。			
	必ず電源を切ってから作業して 下さい			
	コネクターの内側のピン(金属部分) を直接手で触れないで下さい			
一次側の配線は左記のように対応 してください。	⚠h			
⚠h				

取付内容		取付図	注意図	
1	ボックスへの設置			
	ボックスのパネに セーフティワイヤーを取り付ける			
	セーフティワイヤーはボックスの パネに確実に取付てください			
2	本体をボックスに押し入れる			
	器具が天井内の造営材等に接触しな いようご注意ください。			

■器具の寿命について

照明器具には寿命があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。(JIS C 8105-1解説による)
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る恐れがあります。

■保証について

保証期間

弊社独自の長期保証期間を定めています。

保証内容

製品の不具合が発生した場合製品毎の保証期間と条件によって無償修理
または無償交換致します。照明器具の施工により破損や施工に関わる部材などは
保証の対象外になります。

修理のご依頼について

保証期間が過ぎている場合、また、保証条件にあたらな場合は、
有償修理とさせていただきます。

保証条件

詳細な保証条件につきましては、「保証書」に記載しております。

※詳細につきましては、弊社営業担当へお問い合わせください。

■アフターサービスについて

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い求めの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

ModuleX

ModuleX Maintenance

ModuleXを安心してお使い頂くために

SL-400DFC/V2/PWM

作成2016.8.23

お問い合わせは 株式会社モデュレックス

ModuleX

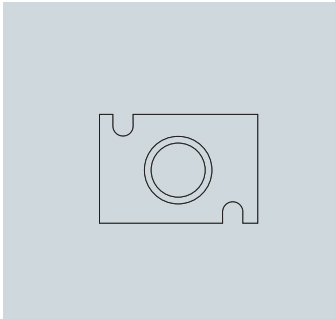
〒100-0001 東京都渋谷区恵比寿南1-20-6第21荒井ビル

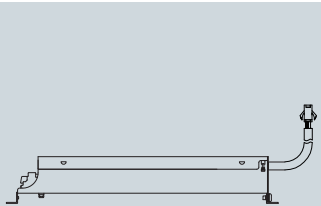
〒545-0051 大阪府大阪市中央区北浜4-1-21住友生命淀屋橋ビル2F

〒810-0001 福岡県福岡市中央区大名1-8-30-1

SL-400DFC/V2/PWM

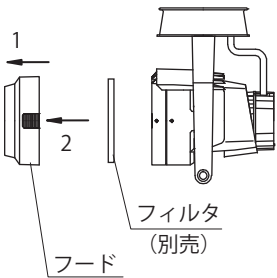
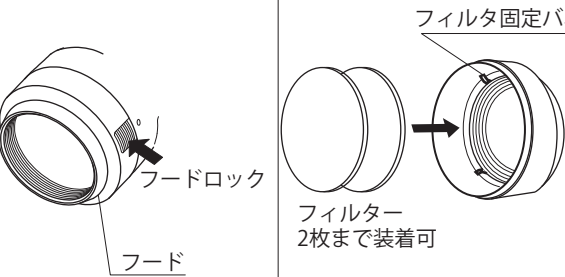
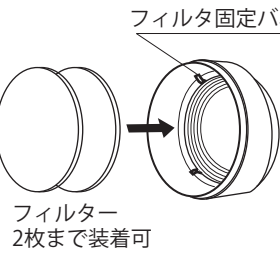
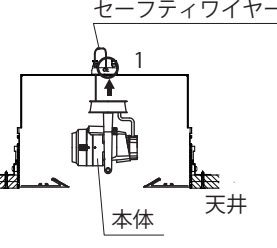
ModuleXを安心してお使いいただくために

	適合電圧	100V/200V/242V
	消費電力	31.8W(100V) 31.4W(200V) 31.6W(242V)
	オプション装着	Filter×2枚 装着可能
	型番記載	器具ボディ内側にシール記載
	専用光源	
	COB 26W	
	色温度	2700K(電球色) 3000K(電球色) 3500K(温白色) 4000K(白色)
	※光源の交換の際はお問い合わせください	

	専用ドライバー E035CC700PWM	
	※専用ドライバー交換の際はお問い合わせください	
	※電源の交換は必ず有資格者(電気工事士)がおこなってください	

安全にメンテナンスしていただくために《必ずご確認ください》		
⚠ 警告：誤って使用すると、人身事故につながるおそれがあります。		🚫：禁止事項
⚠ 注意：誤って使用すると、物的損害につながるおそれがあります。		❗：厳守事項
⚠ 警告	❗	器具やオプションの取付は、器具本体表示または本説明書に従い確実に行ってください。(落下・感電・火災の原因)
	🚫	点灯中、消灯直後は高温のため器具に触らないでください。(やけどの原因)
	🚫	布や紙、断熱材を器具の上に置いたり被せたりしないでください。(不点灯、火災の原因)
	🚫	器具の隙間に金属や燃えるものを入れないでください。(感電、火災、器具故障の原因)
	❗	器具取付部以外の本体外郭が天井内外の造営材やダクト等の設備に接触しないように施工してください。(落下・感電・火災の原因)
	🚫	器具の分解・改造はしないでください。(感電・火災・落下・故障の原因)
	🚫	濡れた手で作業しないでください。(感電の原因)
	❗	煙や異臭等の異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。(感電・火災の原因)
	❗	コネクタを接続及び外す場合は、必ず電源を切ってから作業して下さい。
⚠ 注意	❗	スプリンクラー等の防火設備に器具の熱が影響しないように取付してください。(誤作動の原因)

■ オプションの交換について

取付内容		取付図	注意図	
1 2	オプション取付			
	フードをはずす			
	フードにに適合ランプを差込む			
	フード装着の際はフードロックがカチッと音がするまで確実に装着してください			
⚠ e	フィルターはフード側の固定バネにまっすぐ押し込んで確実に装着してください			
⚠ f	ボックスへの設置			
1	ボックスのパネにセーフティワイヤーを取り付ける			
	セーフティワイヤーはボックスのパネに確実に取付てください			
2	本体をボックスに押し入れる			
	器具が天井内の造営材等に接触しないようご注意ください。			